

大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 提案概要①

資料 2

※区域整備計画の作成過程等において、今後変更が生じる可能性があります。

応募者（コンソーシアムの概要）

応募者の名称	MGM・オリックス コンソーシアム
応募グループ構成員	MGMリゾート・インターナショナル オリックス株式会社 関西企業を中心とするその他の構成員

事業方針・コンセプト

- ◆ビジョン：大阪・関西に、“WOW” Next を。
 - WOW（新鮮な驚きや感動）の体験
 - “世界最高水準”の“成長型 I R”を地域とともに創り育てる。
- ◆開発コンセプト：“結びの水都”
 - あらゆるものを結ぶ結節点としての大阪 I R（結び）
 - 水都大阪の伝統・文化・精神を継承（水都）
- ◆日本の観光先進国化と持続的な経済成長への貢献
- ◆「アジアの中心となる国際競争力あるグローバル都市・大阪」を実現するエンジンとなる。

＜イメージパース：結びの庭＞



事業効果

（数値は概数）

初期投資額	約 1 兆 800 億円（税抜き）
年間来場者数	約 2,050 万人（国内 約 1,400 万人、国外 約 650 万人）
年間売上	約 5,400 億円（ノンゲーミング 約 1,100 億円、ゲーミング 約 4,300 億円）
雇用者数	約 15,000 人
納付金・入場料 （府・市合計）	約 1,100 億円/年（納付金 約 770 億円/年、入場料 約 330 億円/年）

※経済波及効果については I R 基本構想（建設時 1 兆 2,400 億円、運営時 7,600 億円/年）を上回る。

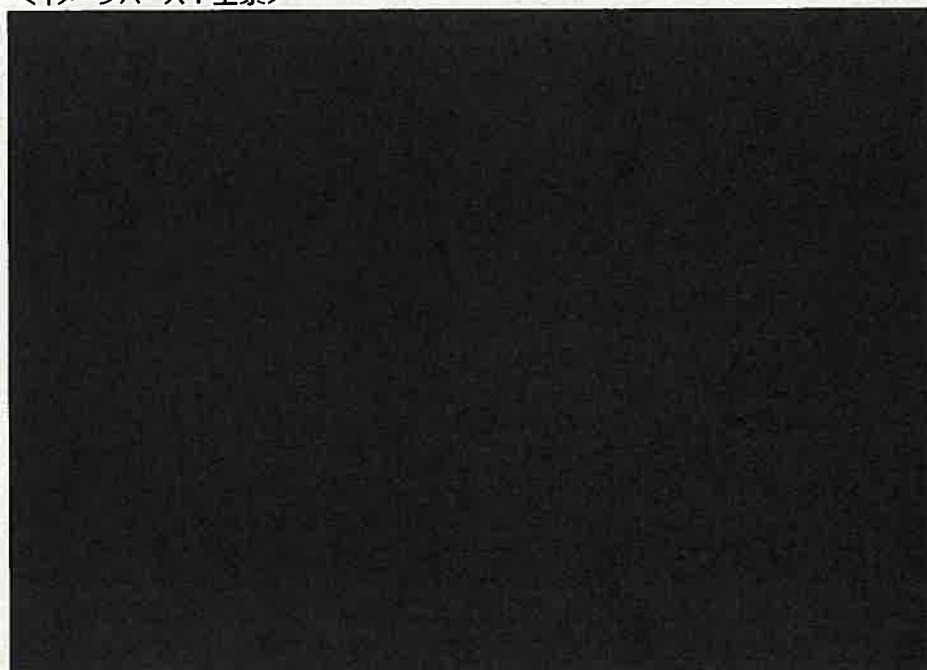
大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 提案概要②

施設概要

(数値は概数)

施設種別	延床面積	施設構成・規模
国際会議場施設	約3.7万㎡	最大会議室 6,000人超収容
展示等施設	約3.1万㎡	展示面積 2万㎡ 関西イノベーション・ラボ
魅力増進施設	約1.5万㎡	ガーデンシアター 関西ジャパンハウス 三道体験スタジオ ジャパン・フードパビリオン 関西アート&カルチャーミュージアム
送客施設	約1.4万㎡	関西ツーリズムセンター バスターミナル、フェリーターミナル
宿泊施設	約28.9万㎡	客室 約2,500室 レストラン、プール、フィットネス 大浴場、バンケット 等
エンターテインメント施設	約1.3万㎡	夢洲シアター3,500席 等
飲食・物販・サービス等施設	約31.0万㎡	飲食施設、物販施設 駐車場、エネルギーセンター 等
カジノ施設	約6.1万㎡	※カジノ行為区画は総延床面積の3%以内
総延床面積	約77万㎡	

<イメージパース：全景>



大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 提案概要③

MICE施設（国際会議場・展示等施設）

- ◆多様な催事に対応可能な世界最高水準のオールインワン MICE施設
- ◆グローバルなセールス・プロモーション活動
 - MGMや国内外パートナーのネットワークを最大活用
 - 「オール大阪体制」でのMICE誘致推進

魅力増進施設

- ◆日本の観光魅力を高め、世界に向けて発信
 - 伝統、文化、芸術など「日本の観光魅力のショーケース」の形成
 - 関西ツーリズムセンターとの連携による、大阪 I R を起点とした広域観光の推進
 - 世界中の人々が日本の魅力を楽しめるコンテンツの提供

送客施設

- ◆大阪・関西・日本全国の観光地への送客の実現
 - VRなどの先進技術を活用したショーケース機能
 - 専門人材やテクノロジー等を活用したコンシェルジュ機能
 - 大阪最大級のバスターミナルや海上の新しい交通機能

<イメージパス：ジャパン・フードパビリオン、関西ツーリズムセンター>

宿泊施設

- ◆利用者需要の高度化・多様化に対応した3つの宿泊施設を整備
 - エンターテインメントホテル、多世代型アクアリゾートホテル、VIP向け最高級ホテル

<イメージパス：宿泊施設（MGM大阪、MUSUBI ホテル（仮称））>

大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 提案概要④

来訪及び滞在寄与施設

エンターテインメント施設

◆世界有数のエンターテインメント拠点の形成

- ▶ 世界水準のエンターテインメントの集積（ショー、パフォーマンス、スポーツ等）
- ▶ 最先端の技術・演出手法を活用した革新的なエンターテインメントの創出
- ▶ 大阪 I R 発のオリジナルコンテンツの創出 など

その他の施設

◆大阪・関西ならではの強みを活かした多様なコンテンツを提供

- ▶ 飲食施設（ジャパン・フードパビリオン、ローカル/グローバルパートナー・ダイニング、ジャズクラブ等）
- ▶ 物販施設（Luxuryリテール、関西ジャパンハウス等）
- ▶ ウェルネス施設（スパ、フィットネスセンター等）
- ▶ 結びの庭（非日常を体験出来るリゾート空間） など

スマートなまちづくり

◆ I R 及び地域の関係者全てに価値を提供する先進的・持続的なスマートシティの実現

◆万博レガシーの継承、脱炭素・循環型社会実現とSDGs達成に貢献する世界で最もサステナブルな I R をめざす

- ▶ エネルギーの地産地消と環境負荷の軽減（エネルギーマネジメント、再生可能エネルギーの活用等）
- ▶ スマートな観光体験を実現する観光ICTサービス
- ▶ IoT等を活用した防犯・防災
- ▶ モビリティ・交通マネジメント など

◆観光先進国としてふさわしい訪日外国人旅行者の受入環境整備

<イメージパース：全景（夜景）>



大阪・夢洲地区 I R施設設置運営事業 提案概要⑤

懸念事項対策

ギャンブル依存症対策

- ◆ MGMの知見・ノウハウを踏まえ、大阪府・市及び研究機関等と連携し、責任あるゲーミングを着実に実施
 - ▶ カジノ施設の厳格な入場管理・利用制限措置の実施
 - ▶ 最先端のICT技術等による問題あるギャンブル行動の発見と対応
 - ▶ 24時間365日利用可能な相談体制等の構築
 - ▶ ギャンブル等依存症対策研究への貢献、専門人材育成への協力、民間支援団体との連携体制構築 など

治安・地域風俗環境対策

- ◆ あらゆる来訪者の安全・安心を守り、地域全体の安全確保に貢献
 - ▶ 厳格な組織犯罪・反社会的勢力対策、テロ対策、マナー・ローンダリング対策
 - ▶ 強固な警備体制（総合防災センター、防犯カメラ、警備システム等）など

危機管理・防災対策

- ◆ 来訪者・従業員の安全を第一に、夢洲の立地・来訪者特性を考慮した施設設計及び運営体制の構築
 - ▶ 迅速・正確な情報提供、島外避難支援、救援物資の確保、帰宅困難者向け退避環境の提供（3日間以上）
 - ▶ 地震・台風等の自然災害を想定したレジリエントな建物設計、災害時のインフラ環境を保持するバックアップ機能 など

感染症対策

- ◆ 健康・安全を最優先、安全な事業継続と運営再開に取り組む感染症対策
 - ▶ MGM既存施設での実績・ノウハウを活かし、運営・施設面の衛生管理、テクノロジー活用等、ハード・ソフト両面で安全衛生対策を実施 など

大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 提案概要⑥

地域経済の振興・地域社会への貢献

◆大阪・関西の観光・経済・社会・文化の持続的発展に寄与

- ▶ 地域社会と連携した地域経済振興
- ▶ 中小企業、ベンチャー・スタートアップ支援
- ▶ 大阪・関西の産業と連携したイノベーション・新産業創出支援
- ▶ 質の高い雇用機会の提供と人材基盤強化
- ▶ 地元産品の調達、地域資源の発掘、地域ブランディングの向上
- ▶ 夢洲・ベイエリア一帯の活性化 など

<イメージパース：ウォーターフロント空間>



再投資（カジノ収益の活用）

◆投資と来場者数増の好循環を形成し、「成長型 I R」として持続的に発展

- ▶ 施設の修繕・建替え・拡張、コンテンツ更新・追加 など

◆大阪府・市の施策への協力と有害影響排除に取り組み、地域発展に貢献

- ▶ 府・市が実施する施策への協力、依存症対策、治安・風俗環境対策 など

開業予定時期

2020年代後半
(公民連携して早期開業をめざす)

大阪・夢洲地区 I R 施設設置運営事業 事業実現に向けた課題

事業実現に向けた課題

- 設置運営事業予定者による事業実施判断には、現時点での不確定事項・課題（新型コロナウイルス感染症の影響、国の詳細制度設計、夢洲特有の課題など）の解決が必要不可欠。
- 今後、大阪府・市として、MGM・オリックス コンソーシアムとの間で協議・調整を進め、これら課題の解決に向けて公民連携して取り組む。

- 新型コロナウイルス感染症の影響
国内外の観光需要の回復見通し
- 国の詳細制度設計（I R 税制・カジノ管理委員会規則等）
国際標準・国際競争力の確保
- 夢洲特有の課題
I R 事業用地としての適正確保（土壌汚染、液状化等）
円滑な工事遂行に向けた調整

会議資料の一部黒塗り処理について

本資料のパーズ図等には、著作権等の権利処理が未了である又はその可能性を排斥できないデザイン及び画像等が含まれていたことから、黒塗り処理を施しています。